

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	地域公共交通対策事業			事業番号	30-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	都市政策課	飯田 裕一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	1	安全で円滑な移動ができるまちをつくる	
		施策	30	移動しやすい交通環境対策の推進	
予算事業名	バス交通対策事務費		都市計画総務一般事務費		
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、交通政策基本法、道路運送法				
国・県の計画等			計画期間		
関連個別計画			計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	モータリゼーションの進展や少子高齢人口減少など、公共交通を取り巻く状況は厳しさを増しています。公共交通網の縮小やサービス低下により、利用者が減少するなど負のスパイラルへ陥る可能性もあります。利用者ニーズの多様化が予測される中、持続可能な公共交通ネットワークの形成が求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性やニーズを踏まえた、市内の持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を図ります。</li> <li>・広域的な地域連携を担う、鉄道の運行内容や駅施設の改善などについて鉄道事業者へ要請します。</li> </ul>				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの維持・拡充を基本として、新市街地等への路線振替等の対策を進めます。</li> <li>・地域の実情に応じた新たな交通システムの導入の検討を進めます。</li> <li>・鉄道事業者との連携により、鉄道輸送力の増強や利便性向上の促進を図ります。</li> </ul>				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	コミュニティ交通等導入	基礎調査、路線維持拡充	計画策定、路線維持拡充		
	鉄道対策	事業者へ要請	事業者へ要請		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	コミュニティ交通等導入	調査研究	基礎調査	計画策定	

 事業実施 (Do) へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	・持続可能な公共交通ネットワークを形成するため、アンケート調査等により地域のニーズや実情を把握し、関係機関等と円滑な協議調整を進め、地域公共交通網形成計画を策定します。 ・鉄道事業者に対し、県鉄道輸送力増強促進会議などを活用し、駅施設の改善などを引き続き要請していきます。			
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外			
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>	ランドブレイン株式会社	
	<input type="checkbox"/> 補助金	<b>補助先</b>		
	<input type="checkbox"/> その他	<b>具体的内容</b>		
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>		
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>	
	コミュニティ交通等導入	基礎調査	計画策定	
	鉄道対策	事業者へ要請	事業者へ要請	
<b>実施した取組の内容</b>	・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく「地域公共交通網形成計画」を策定しました。 ・県鉄道輸送力増強促進会議などにより、特急ロマンスカーの常時停車の増発や駅施設の改善等を鉄道事業者に要請しました。			
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>	
			<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	コミュニティ交通等導入	調査研究	基礎調査	計画策定

<b>コスト</b>	<b>年度</b>	<b>28年度 実績</b>				<b>29年度 実績</b>				
	<b>事業費合計 (a)</b>		2,860	千円	4,461	千円				
	<b>内訳</b>	<b>国県支出金 ①</b>	0	千円	2,070	千円				
		<b>地方債 ②</b>	0	千円	0	千円				
		<b>その他特財 ③</b>	0	千円	0	千円				
		<b>一般財源 (a)-①-②-③</b>	2,860	千円	2,391	千円				
	<b>国県支出金の内容</b>		平成29年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 補助率:国1/2							
	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		<b>前回の改定時期</b>					
		<b>その他</b>								
	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>	0.86	人	7,439	千円	0.42	人	3,667	千円
		<b>その他の職員</b>	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
		<b>人件費合計 (b)</b>	0.86	人	7,439	千円	0.42	人	3,667	千円
	<b>トータルコスト (a)+(b)</b>		10,299	千円	8,128	千円				
	<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	市民	単位	市民	単位			
			<b>対象数</b>	101,635	人	102,037	人			
<b>総事業費 / 対象数</b>		101	円	80	円					

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の都市づくりに対応した快適で利用しやすい地域公共交通ネットワークを形成するため、地域公共交通網形成計画を策定しました。</li> <li>・鉄道事業者の特急ロマンスカーの常時停車や駅施設の改善などの要請を行いました。</li> </ul>
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	地域公共交通は、地域のニーズや実情に応じて、多様な形態の運送サービスの普及促進を図るものであるため、他市の事業と一律に比較できないと考えます。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を計画的に進めていくに当たって、地域のニーズや実情に即した公共交通施策を展開していくための基本となる地域公共交通網形成計画の策定は、有効性の高いものです。</li> <li>・平成30年3月に小田急線のダイヤ改正が行われ、伊勢原駅に停車する特急ロマンスカーや快速急行が増発された実績を踏まえると、有効性の高いものであると考えます。</li> </ul>
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画の策定に当たって、有識者や公共交通事業者などで構成する伊勢原市地域公共交通協議会を中心に効率的に協議することができました。</li> <li>・特急ロマンスカーの常時停車等の要請について、県鉄道輸送力増強促進会議などを通じて、効率的に実施しています。</li> </ul>



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の維持・充実を図っていくためには、公共交通事業者をはじめ、市民、企業、行政などがそれぞれの役割を理解し、互いに協力していくことが重要です。</li> <li>・観光客や市民の利便性向上を図るため、特急ロマンスカー停車を契機として、更なる鉄道事業者との連携や鉄道輸送力増強に向けた取り組みを検討する必要があります。</li> </ul>
次年度以降の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通事業者などと連携を図りながら、地域公共交通の充実に向けた施策・事業を展開していきます。</li> <li>・鉄道事業者に対し、県鉄道輸送力増強促進会議などを活用し、特急ロマンスカーの常時停車のさらなる増発などの要請を引き続き行っていきます。</li> </ul>
所管部長による総評	<p>地域公共交通網形成計画は、平成29年度に市民アンケートや利用実態調査などを行い、公共交通事業者や公共交通利用者などの意見を踏まえて策定しました。</p> <p>今後は、少子高齢・人口減少社会が本格化していく中で、本市の持続的発展に欠かせない地域公共交通ネットワークの維持・充実を図っていくため、当該計画に基づき、様々な主体との連携・協働による公共交通の利用促進などの取組を推進していく必要があります。</p>